

一枚指導案集 2年生国語 「アレクサンダとぜんまいねずみ」

④ある日、～「…かえられるっていうの？」

☆本時の目標

- ・アレクサンダがウィリーから魔法のとかげの話聞いたことを知らせる。
- ・ウィリーの話聞いたときにアレクサンダが考えたことを予想する。

教師の働きかけ	児童の応答予想	教師の対応と組織
<p>今日勉強する場面を読んで下さい</p> <p>アレクサンダは隠れ家でひとりぼっちになったとき、どんなことを考えていたのでしょうか？</p> <p>そんなある日、ウィリーがどんな話をしたのでしょうか？</p> <p>どんな話し方で</p> <p>ウィリーになって話しているところを読んで下さい</p> <p>誰が住んでいるのですか？ どこにすんでいるのですか？</p> <p>どんな魔法を使えるのですか？</p> <p>すごいとかげがすんでいるんだね みんなだったら何に生まれかわりたいですか？</p>	<p>音読（2～3名）</p> <p>ウィリーみたいにかわいがられたい ウィリーのことがうらやましい ウィリーみたいなぜんまいねずみになりたい</p> <p>不思議な話</p> <p>秘密めかして 小さな声で</p> <p>「なんでも、…すんでいるそうだよ。」</p> <p>魔法のとかげがすんでいる</p> <p>庭の小石の道のはじめの、 きいちごの茂みの近く</p> <p>生き物をほかの生き物にかえることができる</p>	<p>☆本読みの練習をがんばってきた子を授業前につかんでおいで指名に生かす (H O, I M, T A, M Yにねらいをつけて確認しておく) 【前の時間にうまく入らせ切れなかった子にも声をかけておく】</p> <p>☆せりふの読み方に焦点をあてて評価を入れる</p> <p>☆本を持って聞いている子や班</p> <p>☆ぜんまいねずみになりたいという気持ちを持っていたことを確かめさせておきたい</p> <p>☆ウィリーの話の中身をていねいに確かめながらテンポよく発言をつなげていきたい</p> <p>☆答えやすい問いをつなげているので、立っていない子や班に対して働きかけながら進めいく</p> <p>☆遊び的になってもいいので、できるだけ自由にいろいろな発言をさせることを通して、アレクサンダの願いをしゃべりやすい雰囲気にしておきたい</p>

発問・指示等	児童の応答予想	教師のタクト
アレクサンダは魔法のとかげの話を聞いてどんなことを考えたと思いますか？		<p>☆ふきだしに書かせてから発表させる</p> <p>☆書きにくそうにしている子がいるようなときは、話を聞いて何になりたいと思ったのという形でアドバイスしてみる</p>

次時の予告

- ⑤その日の午後、～「むらさきの小石をもっておいで。」
【どうしたらぜんまいねずみになれるのでしょうか】